

箱根組ニュース

第328号 2020年6月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

塔ノ岳の新雪を踏む6人、雪山体験を楽しむ。氷点下5度の山頂、尊仙山荘で暖を取る。

※新型コロナウイルスの影響で活動を自粛していましたが、少し落ち着いてきましたので箱根組を再開いたします。

ただし、まだ完全に安心というわけではないので感染を広げる側にならないよう、また感染しないよう慎重に十分気を付けてのスタートです。

●マスクの使用について

電車、バス、タクシーの車内、また混雑している所では必ずマスクを付けましょう。

●消毒用アルコール等も利用して安全を確保しましょう。

山を歩いているときはお互いの距離を開けて歩きましょう。

昼食時もあり密集しないように気を付けましょう。

残念ですが、しばらくの間は下山後の打ち上げは行いません。

さて、以下3月の丹沢の記事です。

3月15日（日）、小田急線新宿駅、6時21分発の急行小田原行きに乗車。前日、14日の土曜日は、東京でも午後雨がみぞれに変わった。丹沢はきつと雪に違いないと期待が膨らんだ。

渋沢駅に7時35分着。降り立ったのは佐藤夫妻、奥村、有倉、戸丸の5名。すぐに北口のバス乗り場に向かう。待っていたバスには伊東から参加の西川さんがすでに乗車していた。というわけで今回の参加者は6名。

7時50分、大倉行きバスが発発する。白く雪化粧した丹沢の山に向かって進んでゆく。

8時5分頃、大倉バス停に到着。バス停横のトイレ前で身支度とストレッチをする。

8時30分、出発。山頂まで7キロの行程だ。正面奥の山は雪化粧している。頭上の秦野戸川公園の看板を通過して緩やかな上りの車道を進む。道端には水仙が咲いている。



8時39分、車道がY字に分岐する。左、大倉尾根方面に進む。塔ノ岳まで6.4キロ。植林地の舗装の林道を進んでゆく。

8時45分、左に登り窯のような施設が現れる。

8時59分、右に丹沢ベースという小屋。プライベートの会の施設だろうか。

9時20分、大倉から1.6キロ地点を通過。すぐに観音茶屋。広いテーブル状の休憩スペースがある。ここで小休止。

9時27分、左に大倉高原山の家方向

奥村さんより3000円、渋沢の打ち上げ現金1200円を会計に入れました。

の分岐が現れる。我々は直進する。道は次第に山道らしくなってくる。

現在の収支	
繰越入金	36518 円
支出 切手購入	3120 円
ガスボンベ5個	2520 円
印刷費	2290 円
コピー代	1000 円
現在高	400 円
	33428 円

切手残数	
84円切手	130枚
40円切手	131枚

9時43分、左から先ほどの道が合流してくる地点に到着。小休止。テーブルがあるが濡れている。

9時49分、見晴茶屋。ここは標高500m辺りだが周

囲にはうっすらと雪が見え始めた。傾斜に木道が付いているがやはりうっすら白くなっている。ガスが立ち込めて幻想的な雰囲気になる。

10時19分、3キロ地点の一本松通過。馬の背のようになっている地点辺りから周囲の雑木林の枝は雪をかぶって美しい。霧氷の様な景色に思わず見とれて足取りが遅くなる。

11時7分、駒止茶屋。標高905m。トイレ休憩とスパッツを装着。さて周囲は一層の雪景色だ。木道はまだ大丈夫。立ち込めるガスと木々の雪景色の白い世界に目を奪われる。

11時31分、左側の木にぶら下がった「お汁粉400円、おもちも入ってます」の宣伝看板になぜかホッとする。

11時43分、堀山の家。休憩。標高は1000m付近、積雪は徐々に多くなってくる。登山道は岩も多くなり歩きにくい。映画八甲田山のような気分だ。木製の階段のステッ

6月21日(日) 青梅丘陵に行きます。

らくだコース 歩行2〜3時間

※電車内、混雑時のマスク使用をお願いします。

青梅駅から青梅丘陵ハイキングコースを歩きます。矢倉台で昼食予定。少し戻って宮ノ平駅に下山。

●申し込みは 6月19日(金)までに
○持ち物 マスク(予備マスク)、お弁当、飲料水、傘、雨具、スパッツ、非常食、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

集合 6月21日(日)

JR東京駅中央線 青梅特快

7:55 発 青梅行き(前から3両目)

途中駅発

神田 7:57 御茶ノ水 7:59

四ツ谷 8:04 新宿(12番線) 8:09

中野 8:14 三鷹 8:24 国分寺 8:31

立川 8:36 拝島 8:49

青梅 9:08 着

交通費 東京～青梅(片道940円)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi

プ部分も積雪が多くなる。

12時16分、標高1128m、天神尾根分岐着。足元も雪が深くなっている。部分的には膝くらいまで30センチほどは積もっているようだ。

午後1時、花立山荘着。小休止してなおも登る。ロープの付いた岩場の下りを慎重に降りる。また少し登り返す。



1時40分、金冷シ着。左へ行けば鍋割山方面だ。アイゼンを装着して万全で進む。

2時前、山頂直前の雪の階段を上っていると奇跡的に一部青空が広がる。白い雪と雲と青い空のコントラストが美しかった。

2時15分、1491mの塔ノ岳山頂着。寒いので尊仏山荘に入る。ストーブが暖かい。甘酒やコーヒー、ビール等を頼んで持参のお弁当をいただく。山小屋は本当にオアシスだ。山頂の景色は残念ながらガスで見えることはできなかった。

3時15分、小屋の前で記念撮影して下山開始。同じ道を下る。

3時37分、金冷シ。

3時58分、花立山荘。ひたすら下ってゆく。眼下の秦野の町並みが日が差して明るく光って見える。

4時36分、天神尾根分岐を通過。

5時、堀山の家。しばらく下ると青空が広がってくる。左方向、三ノ塔方面の丹沢表尾根が夕日に照らされて姿を現す。しばらく景色を堪能する。

5時32分、駒止茶屋でトイレ休憩。もう足元には雪はない。

5時53分、一本松。大倉まで3キロ地点。

6時10分過ぎ、辺りが大分暗くなっ

てきたのでヘッドランプを装着する。すぐに見晴茶屋を通過。暗い道を声をかけあいながら、段差や溝、岩に気を付けながら下ってゆく。

7時10分、大倉バス停まで600mの分岐に無事到着。すっかり晴れた星空を眺めながら車道を下りて行く。北斗七星、北極星、カシオペアなどが確認できた。北斗七星から北極星を探す方法、カシオペアから探す方法など話が盛り上がった。きれいな星空に癒される。

7時18分、大倉バス停に到着。身支度をして渋沢行きのバスに乗る。

8時前に渋沢駅に着いた6人は、お腹もすいていてビールも恋しく、北口駅前の居酒屋に入る。

9時半前の電車で、新宿に伊東にと帰路に着く。

今回の丹沢塔ノ岳は行程も長く、なかなか険しいコースなのだが、皆よく頑張ったと思う。結果、雪山体験、アイゼンやヘッドランプまで使ってフルコースの充実した一日でした。

7月5日(日) 戸倉三山に行きます。

(歩行約8時間)

詳細はまもなくネットで発表します。

○槍ヶ岳は来年に延期しました。

